

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

代々木病院 眼科

OCT導入

Optical coherence tomography

多くの眼疾患の

糖尿病性網膜症、
網膜静脈閉塞症など

診断・治療がより精密に

眼の病気といえは多岐にわたっており、自覚症状もなく、ほつておくと危険な病気もあります。山城医師に新規導入したOCTの効果も含め、眼科の疾患について聞きました。

白内障の手術

眼の病気といえは多岐にわたっており、自覚症状もなく、ほつておくと危険な病気もあります。山城医師に新規導入したOCTの効果も含め、眼科の疾患について聞きました。



前列中央：阿部医師、後列左：山城医師と眼科スタッフ

緑内障の 早期発見

当院では健診センターがあり、眼底写真撮影を行い眼疾患の検出を行っています。眼底写真では動脈硬化・眼底出血などのほか、緑内障の有無もわかります。とくに緑内障の早期診断・早期治療には力を入れており、健診により検出された緑内障の患者さんも多く通院されています。

また糖尿病や高血圧などで内科に通院されている患者さんが眼科にもかかる機会が多

く、自覚症状がない場合でも内科医から眼科への受診をすすめる

うかをチェックすることが大切です。網膜症

がある場合は必要な時期にレーザー治療を受けることにより、病状の進行を抑えることができます。

糖尿病の 合併症発見

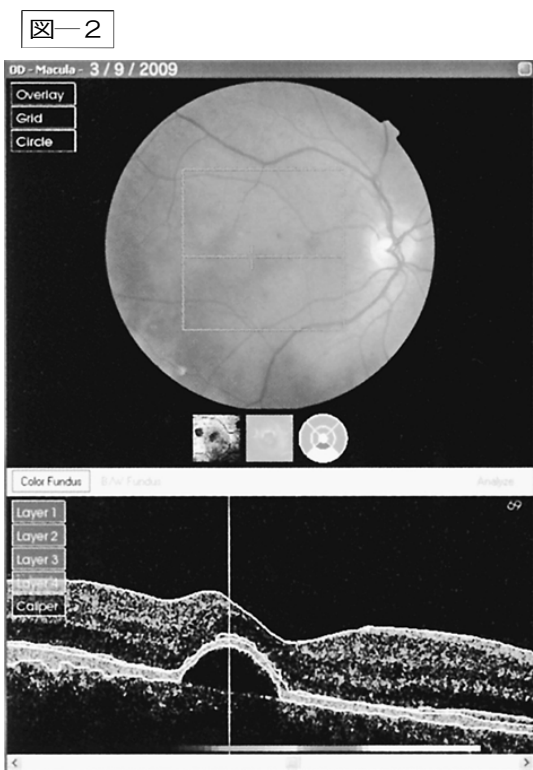
特に糖尿病の患者さんは定期的に眼科を受診し、糖尿病の合併症である糖尿病性網膜症を発症していないかど

そのほかドライアイ・アレルギー性結膜炎・角膜ヘルペス・麦粒腫・霰粒腫・涙囊炎・網膜動脈閉塞症・網膜静脈閉塞症・網膜裂孔・網膜剥離・加齢性黄斑変性・網膜色素変性症・ぶどう膜炎などさまざまな疾患の患者さんが通院されています。

最近眼科で話題になっている機器にOCT

最新の医療 機器導入

当院でもこのOCTを導入し、さらに診断・治療に役立てていきたいと思っています。



手術台

冷雨のなか区役所に行った。書類一つとるのに二時間近くかかり、イラッ

いたが、それ以上に「妙な感じ」にずっと付き纏われた▼それは「番号」。番号に支配された世界の不気味さ。当該課で受付番号をとる、その番号が呼ばれるのをじっと待つ、呼ばれると記入済みの申請用紙を渡し、出上来るまで無言でひたすら待つのである。必ずしも受付順に出来るわけではない▼だが、誰も一言も言わず待っている。徹底的に番号だけが支配している無機質な世界であった。同じ風景は銀行でも見られる。さすがの「おばさま」族でさえ、じっと耐えている……というより飼育係に馴らされている▼考えてみたら病院も同じ。受付番号が呼び出し、検査・診療・支払いまでを支配し始めている。確かに効率的だが大切なものを失っていると思う。いま日本社会に跋扈しているこの受付番号順方式は対話を拒否し、知らず知らずのうちに「日本人」の心のコア(核)を腐蝕させてしまっているのではなかろうか。(ま)